

## 財政収支(1-10月)

(1) 1-10月の歳入は前年同期比77.9%増、税収は同85.3%増。歳出は前年同期比94.2%増。  
 (2) 結果として1-10月の財政収支は6,080.63億リラの赤字(前年同期比372.3%増)、プライマリーバランスは703.89億リラの黒字(同150.5%増)。

データ:財務省 単位:億リラ

歳入・歳出内訳	2022年1-10月(A)	2023年1-10月(B)	増加率 ((B-A)/A)
歳入(a)	21,994.22	39,137.33	77.9%
税収	18,297.71	33,914.61	85.3%
所得税	2,745.22	5,345.94	94.7%
法人税	3,756.97	5,004.27	33.2%
付加価値税(国内及び輸入)	6,100.83	11,518.07	88.8%
特別消費税	3,211.09	7,089.49	120.8%
その他税収	2,483.60	4,956.84	99.6%
税外収入等	36.97	52.23	41.3%
歳出(b)	23,281.76	45,217.96	94.2%
人件費	5,041.87	10,964.87	117.5%
物品及びサービスの購入	1,778.22	3,223.68	81.3%
経常移転	9,315.40	18,267.52	96.1%
資本支出	1,531.78	2,964.87	93.6%
支払利子(c)	2,682.55	5,376.74	100.4%
その他歳出	2,931.94	4,420.28	50.8%
財政収支(a-b)	▲ 1,287.54	▲ 6,080.63	▲ 372.3%
基礎的財政収支(a-(b-c))	1,395.01	▲ 703.89	▲ 150.5%

## 経常収支(2023年1-9月)

(1) 2023年1-9月の経常収支は、408.35億ドルの赤字(前年同期は382.12億ドルの赤字)。  
 (2) 2023年1-9月の貿易収支(物品)は722.60億ドルの赤字で前年同期から赤字幅拡大、旅行収支は320.10億ドルの黒字で前年同期から黒字幅拡大。

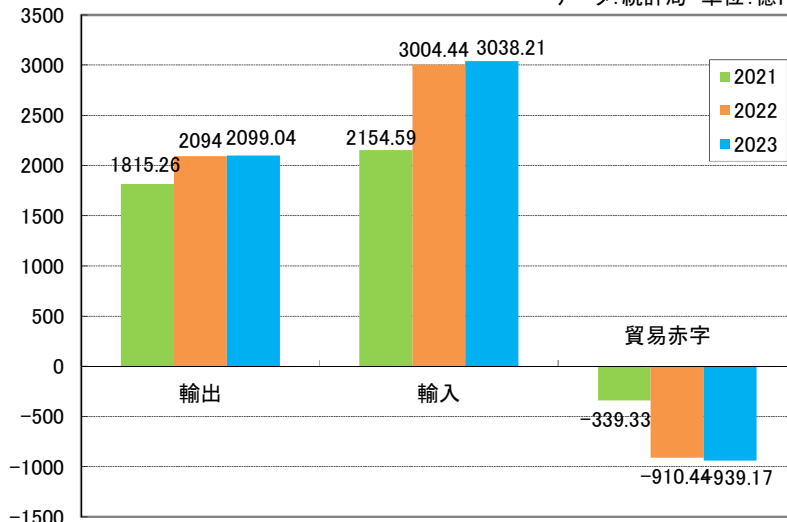
データ:中央銀行 単位:億ドル

内訳	2022年1-9月(A)	2023年1-9月(B)	増加率 ((B-A)/A)
経常収支	▲ 382.12	▲ 408.35	▲ 6.9%
貿易収支(物品)	▲ 678.98	▲ 722.60	▲ 6.4%
サービス収支	375.51	397.69	5.9%
旅行収支	285.79	320.10	12.0%
第1次所得収支	▲ 72.63	▲ 86.53	▲ 19.1%
第2次所得収支	▲ 6.02	3.09	151.3%
労働者送金	1.60	1.75	9.4%
資本移転等収支	▲ 0.23	▲ 1.67	▲ 626.1%
金融収支	▲ 176.38	▲ 395.96	▲ 124.5%
直接投資	▲ 64.49	▲ 22.79	64.7%
証券投資	147.03	▲ 19.47	▲ 113.2%
その他投資	▲ 270.97	▲ 244.12	9.9%
外貨準備	12.05	▲ 109.58	▲ 1009.4%
誤差脱漏	205.97	14.06	▲ 93.2%

## 貿易収支(1-10月)

(1) 1-10月の輸出額は2,099.04億ドル(前年同期比0.24%増)、輸入額は3,038.21億ドル(同1.12%増)となり、この結果、貿易収支は939.17億ドルの赤字(同3.16%赤字幅拡大)となった。  
 (2) 1-10月の輸出額におけるEU向け輸出の占める割合は41.3%(前年同期は41.0%)、輸入額におけるEUからの輸入の占める割合は28.9%(前年同期は25.3%)となっている。

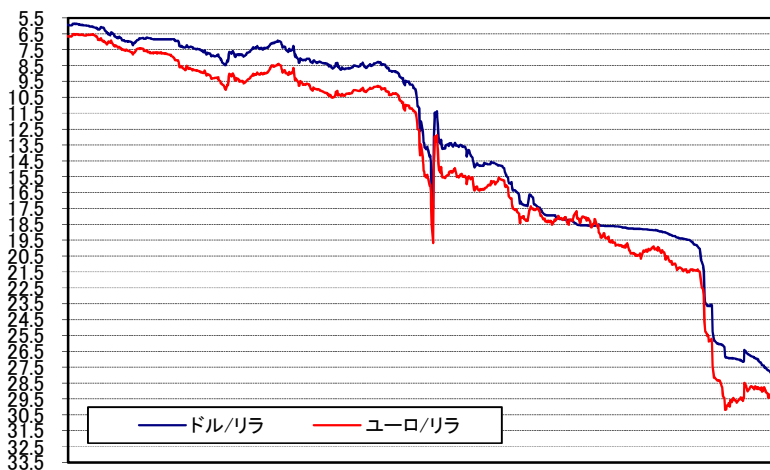
データ:統計局 単位:億ドル



## 為替(11月)

11月23日、トルコ中央銀行は政策金利を引き上げたが、引き続きリラ安傾向。月末は1ドル=28.82リラ(前月末比2.1%安)、1ユーロ=31.51リラ(同4.9%安)となった。

データ:中央銀行 単位:リラ



## 消費者物価上昇率(10月)

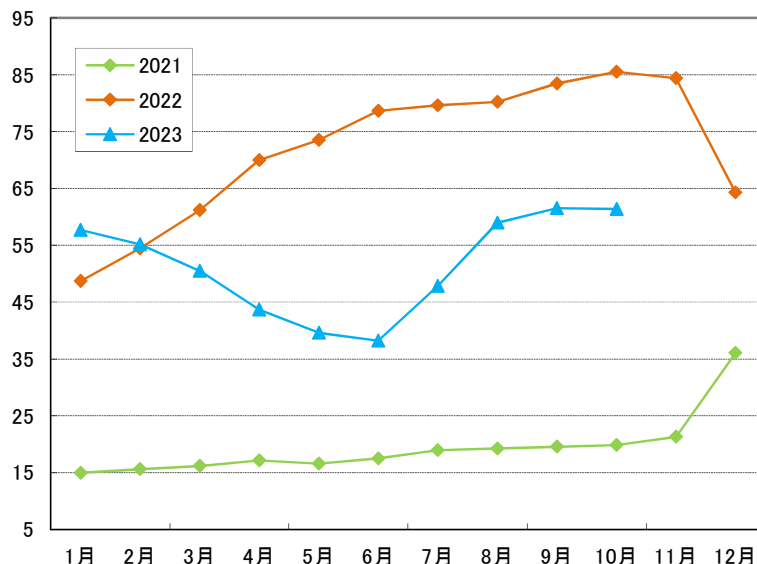
(1)10月の消費者物価は前年同月比61.36%増、前月比3.43%増。

(2)項目別にみると、前年同月比94.12%でホテル及び飲食店が、前月比13.73%で衣類・履物が最も上昇した。

(3)2023年末のインフレ率の中銀目標(11/2時点)は前年同月比65%。

(4)国内生産者物価指数は前年同月比39.39%増、前月比1.94%増となった。

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)



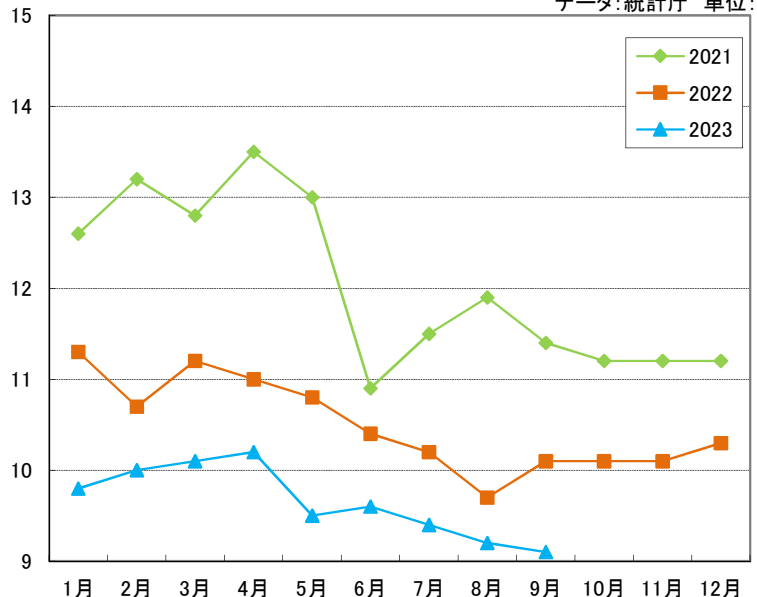
## 失業率(9月)

(1)9月の失業率(季節調整後)は9.1%となり、前月から0.1ポイント減少。

(2)労働力人口は3,485.4万人、就労者数は3,168.6万人、失業者数は316.8万人。

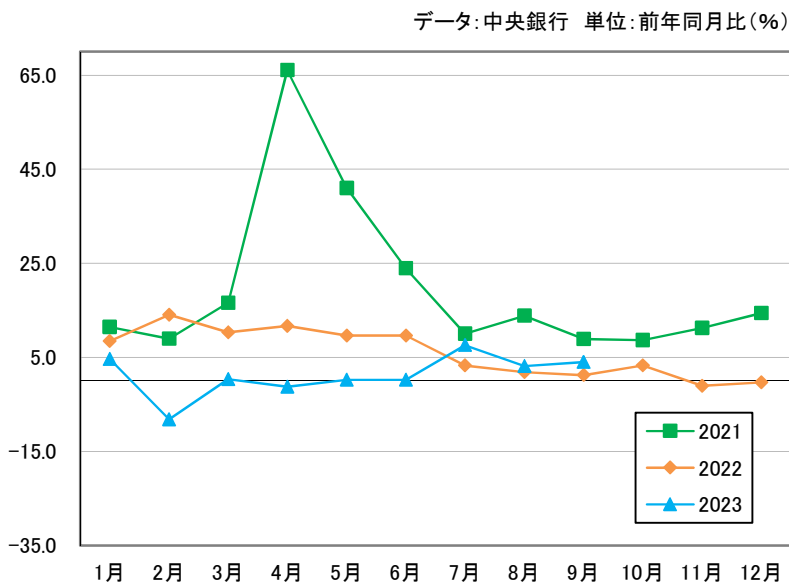
(3)男性の失業率は7.5%、女性は12.3%。若年層(15-24歳)の失業率は16.7%となっている。

データ:統計庁 単位:%



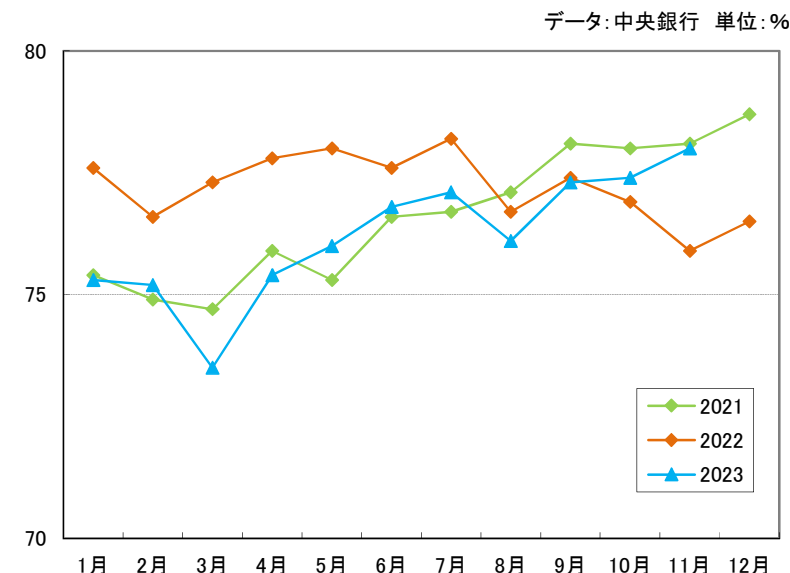
## 鉱工業生産(9月)

(1)9月の鉱工業生産指数は、前年同月比(日数調整後)4.0%増。  
 (2)分野別では、耐久消費財が前年同月比6.1%増、資本財が同21.2%増、中間財が同2.0%増となった。



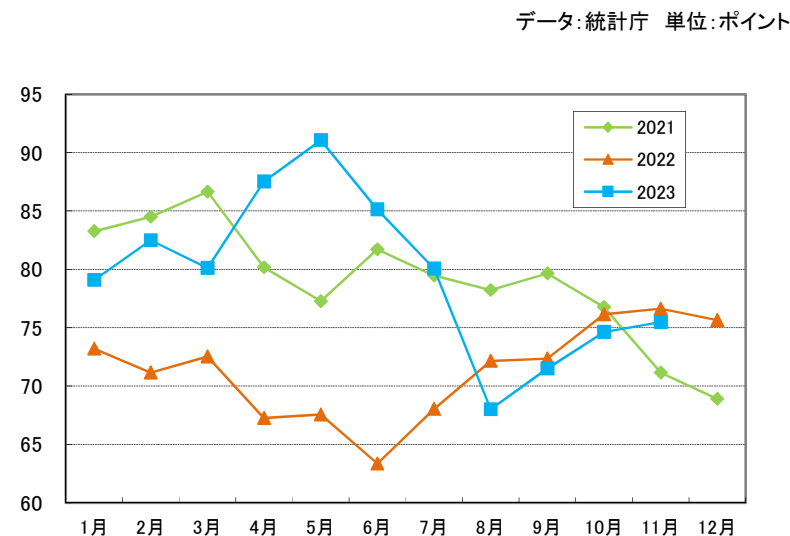
## 設備稼働率(11月)

(1)11月の設備稼働率は78.0%となり、前年同月から2.1ポイント上昇し、前月から0.6ポイント上昇。  
 (2)製造業の分野別では、たばこ製造業(87.6%)が最も稼働率が高く、皮革及び関連製品製造業(63.2%)が最も低い稼働率であった。



## 消費者信頼感指数(11月)

(1)11月の消費者信頼感指数(季節調整値)は75.5ポイントで、前月から0.9ポイント上昇。  
 (2)内訳では、「現在の家計の財政状況」及び「今後12か月間の家計の財政状況見通し」、「今後12か月間の一般経済状況見通し」は前月から上昇し、「今後12か月間の耐久消費財への支出見通し」は前月から減少した。



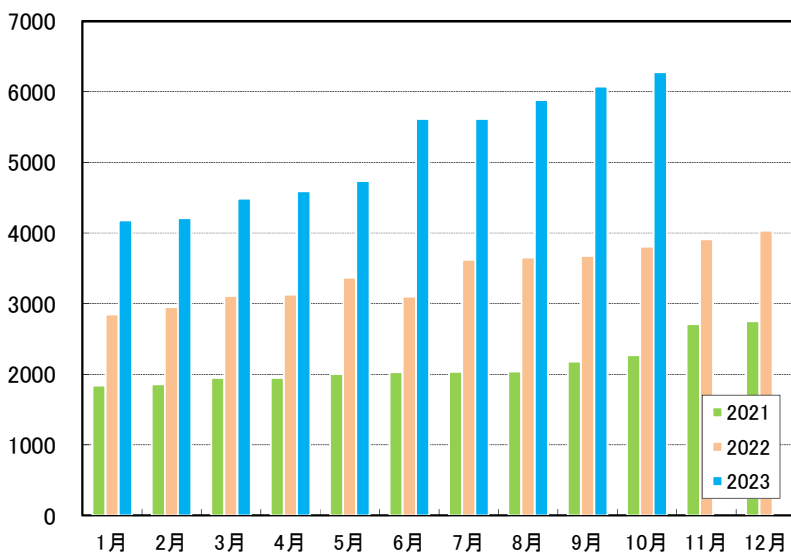
## 中央政府債務残高(10月)

(1)10月末時点での中央政府債務残高は6兆2,768億リラとなり、前年同月比64.8%増、前月比3.4%増となった。

(2)また、国内債務比率は47.3%、自国通貨債務比率は35.4%(2022年末は34.5%)となっている。

(3)なお、債務残高のうち円は0.8%で、外貨ではドル、ユーロに次ぐ地位を占めている。

データ:財務省 単位:10億リラ

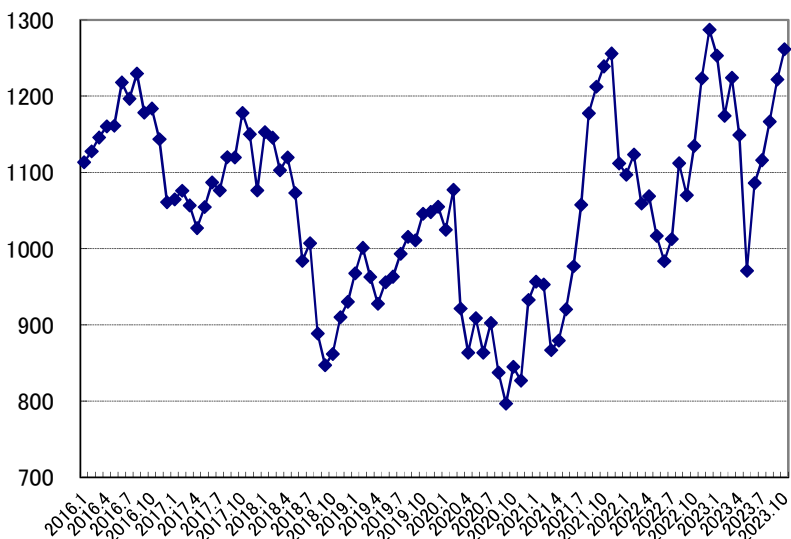


## 外貨準備高(10月)

(1)10月末時点での中央銀行の外貨準備高(金を含む)は1,261.85億ドルとなった。

(2)前月から39.89億ドル上昇した。

データ:中銀 単位:億ドル

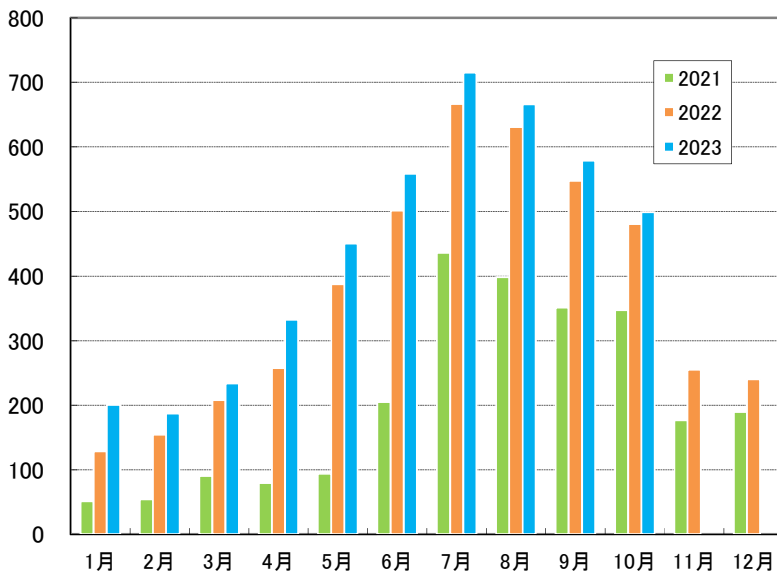


## 外国人訪問者数(10月)

(1)10月の外国人訪問者数は4,987,112人で、前年同月比3.83%増。日本は7,849人であった(前年同月は3,899人)。

(2)国別ではドイツが最も多く、860,635人で全体の17.26%を占め、以下、ロシア(672,198人)、イギリス(441,449人)となっている。

データ:文化観光省 単位:万人

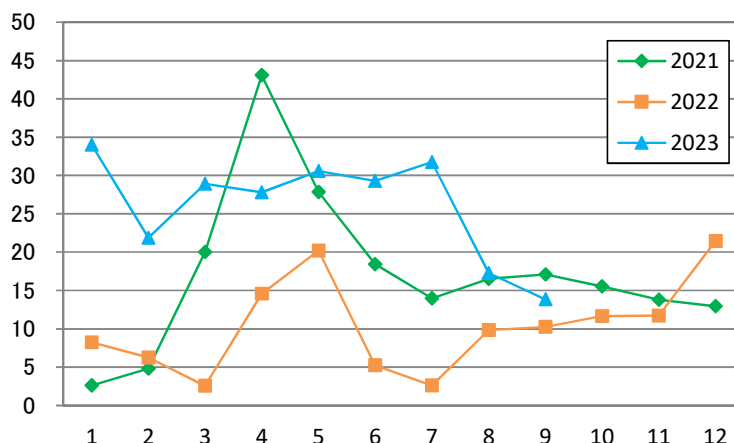


## 小売売上高(9月)

(1)9月の小売売上高は前年同月比(日数調整後)13.8%増、前月比(季節及び日数調整後)0.7%減。

(2)内訳は食品・飲料・タバコが前年同月比13.8%増、繊維・衣料が同4.1%増、コンピュータ・書籍・通信機器が同30.8%増となった。

データ:統計庁 単位:前年同月比(%)

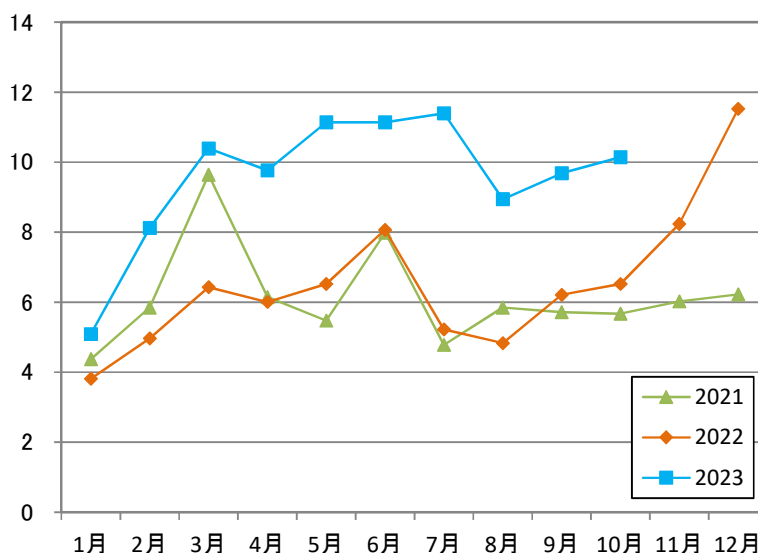


## 新車販売台数(10月)

(1)10月の新車販売台数は101,367台で前年同月比55.42%増。

(2)10月の内訳は乗用車が82,611台(前年同月比74.1%増)、小型商用車が18,756台(同5.5%増)となった。

データ:自動車販売協会 単位:万台



## 住宅販売戸数(10月)

(1)10月の住宅販売戸数は93,761戸で前年同月比8.67%減となった。

(2)10月は新築が29,230戸(前年同月比10.6%減)、中古が64,531戸(同7.8%増)。

(3)10月の住宅ローンでの購入は5,577戸(前年同月比58.0%減)、その他が88,184戸(同1.4%減)。

データ:統計庁 単位:万戸

